

平成29年 第2回伊那地域協議会会議録

開催日	平成29年6月15日(木)								
開催時間	開 会	午後6時30分			閉 会	午後8時00分			
開催場所	伊那市役所 1階 多目的ホール								
委員の出欠 出席26名 欠席13名		委員氏名			委員氏名			委員氏名	
	1	板倉 倫顕	出	16	伊藤 和義	欠	31	岩本 庄平	欠
	2	守屋 武夫	出	17	西澤 茂成	欠	32	高橋 陽子	欠
	3	伊藤 仁	出	18	福澤 千絵	欠	33	唐木 由美子	出
	4	久保村 友保	欠	19	若林 一雄	出	34	鈴木 優子	欠
	5	白鳥 始	出	20	池上 直樹	欠	35	平澤 澄穂	欠
	6	細田 幸一	出	21	宮下 平治	出	36	武田 登	欠
	7	中村 初治	出	22	畑 英城	出	37	平賀 裕子	出
	8	宮下 信一	出	23	中村 繁子	出	38	小林 正	出
	9	中村 隆幸	出	24	小林 旬子	欠	39	井口 清吾	出
	10	伊澤 芳人	出	25	向山 昌江	欠			
	11	有馬 久雄	出	26	田中 利幸	出			
	12	酒井 秋雄	出	27	小池 弥生	出			
	13	林 典男	出	28	中村 一重	出			
	14	米窪 砂男	出	29	永井 治彦	出			
15	平澤 徹	出	30	清水 功	欠				
署名委員	田中 利幸			小池 弥生					
条例第10条の規定により出席した者	なし								
市側の出席者	なし								
出席した事務局職員	地域創造課長 宮原 貴敏 地域振興係長 飯島 勝 地域振興係 橋爪 智美								
報告	(1) 伊那市協働のまちづくり交付金事業について								
議事	(1) 小グループでの検討について (2) その他								

配布資料	資料 No. 1	平成 2 8 年度伊那市協働のまちづくり交付金事業実績一覧
	資料 No. 2	伊那地域協議会検討グループ編成表
	資料 No. 3	平成 2 9 年度伊那地域協議会年間計画
	参考資料	伊那市協働のまちづくり交付金募集回覧

1 開会

開会する。

2 報告事項

(事務局)

委員の交代について報告する。社会福祉協議会から中村一重さんに委員をお願いすることになった。

武田会長が体調不良

により、また久保村副会長が都合により、それぞれ欠席との連絡があった。

(欠席の報告)

3 あいさつ (副会長より)

武田会長と久保村副会長が欠席ということで、本日の進行を仰せつかった。よろしくお願ひしたい。

4 会議録署名人の指定について

(会長)

会議録署名人に 2 6 番 田中 利幸委員、2 7 番 小池 弥生委員を指名する。

5 報告事項

(1) 伊那市協働のまちづくり交付金事業について

(事務局)

平成 2 8 年度伊那市協働のまちづくり交付金事業の実績について説明。

<質疑・応答>

<異議なし>

6 協議事項

(1) 小グループでの検討について

<グループによる検討>

＜グループによる検討結果発表＞

(グループ1) 「中心市街地の活性化について」

昨年討論してきたことを踏まえて、一つでも何か今年実現できることはないかと話し合った。お金の問題や具体的な取り組みについては、なかなか難しいものがあると思うが、それでも街づくりセンターというようなものの設置についてどのくらい取り組めるか考えていきたい。街づくりセンターといえば、タウンステーションが通り町にあるが、それと機能等どう関わるか、設置の目的や費用やハード面等でどんなことができるか討論していこうとなった。人の行き交う街とするには、ハード的な面がかかる。現在、バスターミナルを改築しているので、それにも合わせて人が行き交うことが可能ではないかとも考えるが、具体的にここで提言するには荷が重すぎるという話もあった。具体的な取り組みはなかなか難しいうえに、この場だけで考えるのではなく、周辺の商店街や商工会などいろいろな係わりがあるので、簡単にこうすればいいという結論を出すところまでは至っていない。課題はいくつも見つかったので、これから具体的に取り組む。

(グループ2) 「地域のつながりについて」

「地域のつながりについて」お年寄りや子供たちがつながる、それから家の中に引きこもらず外に出ていくにはどうしたらよいかというテーマなのだが、非常に壮大なテーマである。今日のところは意見を出し、一人一人が出た意見を共有して次回は更に検討を進めるところである。地域性があるので一概には言えないが、組織としては社協や地域ごとの組織があるので、それらを使って外に出ることに繋げていく方向に向ける以外ないのではないか、または何か専門に繋がりを持っていくために、新たな取り組みの組織を作っていくような方向が考えられるという意見、あるいは今の若い人たちを育てていくことが大事で地域の中でリーダーを育てて、横のつながりを作っていけるような人を増やしていくことができればそれが一番いいのではないかという意見があった。また昔からの伝統等を各地域で掘り起こし、それによって繋がりを持つという方向もあるのではないかという意見があった。例えば地名の由来を各地域で調査したり、昔は若いときには楽しかったというようなことをもう一回復活させるというような取り組みをしていくのはどうかという意見もでた。地域が一番大事だということがあるので、防災とからめて何かしていくことはないかという意見も出た。

(グループ3) 「伊那地域の公共施設の在り方について」

現在、153号バイパスの工事が進んでいるところなので、道の駅を作ったらどうかということ、それから伊那市の特徴として市街地の真ん中を天竜川が流れており、南側には三峰川が流れているということで、特に川の沿岸に住む住民にしてみるとダムの決壊等により、現在の施設が使用できるかどうか心配であり、高台に防災施設的なものがあった方がよいのではないかという話が前回出て検討してきた。153号には3つの道の駅があるが、道の駅はどのようなものか調べ内容を勉強している。また、伊那バイパスの工事の進捗状況を理解し、次回は伊那バイパスの設計図を参考に用地的にどこがいいのか、また施

設はどのようなものか整理して、概ねの方向性を出せればと思っている。

(グループ4) 「少子化、高齢化への対策について」

各委員それぞれに意見を出してもらったが、多岐にわたる課題があり、それを全部検討することはできない。一番の原因は若い人が住まなくなっていることで、どんどん高齢化が進んでいく。要するに少子化高齢化ということが全ての問題の根源となっている。次回からこれをどうしていったらいいかを、短期・中期・長期・時系列も踏まえて検討していきたい。

(2) その他

(事務局)

本日年間スケジュールを再度配付してある。地域協議会の第4回だが、前回8月22日という日程でスケジュールをお示ししたが、会場の都合で8月29日に変更したので確認をお願いしたい。次第の一番下に次回の予定ということで、7月26日(水)午後6時半からと記載してある。次回はこの予定をお願いしたい。

(委員)

グループ検討の最後に各グループから発表があるわけだが、この時間は必要か。

(事務局)

それぞれのグループのまとめという観点で発表するという意味合いもあるし、他のグループの進行状況を共有するという点でも発表の時間は必要ではないかと考える。

(委員)

他のグループの状況も聞きたいと思う。

(副会長)

他のグループの状況も聞きたいという意見から、これからも発表するという点でよいか。

<異議なし>

(委員)

当初それぞれの委員の方がいろんな提案を出したが、行政で取り組むべきこと等区分けしたが、年度末でもよいので提案に対しての取り組み状況を報告してほしい。

(事務局)

昨年提言いただいたことについては、年度末と言わずに委員の皆さんに行政でやるべきことについてフィードバックするよう考えている。

7 閉会

本会議に会議録を作成し、会長及び会議録署名人において下記のとおり署名する。

平成29年6月15日

平成29年度 第2回伊那地域協議会 会議録

副 会 長

.....

会議録署名人

.....

会議録署名人

.....